す。内子町に多く住んでいただければ学校などさまざまなことに影響を与えます。町も可能な限りの体制を整えていきます。

◆才野　俊夫（としお）　議員

【就学前児童の環境の整備】

○内子幼稚園、大瀬保育園、五城保育園は、いずれも築後35～40年以上を経過し、老朽化が進んでいる。また、エアコン設置状況は、五城保育園が1部屋、大瀬保育園が2部屋と、大半が未整備な状況である。今後の具体的な予定を伺う。

○改修・建て替えまでの耐震化対策の必要性と現状は。

亀岡教育長

○幼稚園では、内子幼稚園が最も古く（昭和41年建設）、参川幼稚園（昭和45年建設）、立川幼稚園（昭和50年建設）、小田幼稚園（昭和56年建設）となっています。保育園は、五城、大瀬、石畳へき地保育園の3園が築後30数年を経過していますが、どの園も老朽化していますが、応急的な修理修繕で対応し、大規模改修は行っていません。

　内子幼稚園は、21年度から3歳児保育も始めますが、新町建設計画で24年度に建て替えとなっており、今後の財政状況を総合的に判断して行います。

○昭和56年以前の旧建築基準法により建てられた建物で、耐震診断の結果に基づいて改築や耐震補強を行うことになります。該当する幼稚園は、内子、小田、立川の3園。保育園は、五城、大瀬の2園。現在、統廃合再編問題も含め計画を進めています。

正門から見た内子幼稚園

向井保健福祉班長

○保育園の建て替えについては、新町建設計画の中に具体的な計画はありません。エアコン設置については、社会福祉協議会への移管に伴い、内子、くるみの2園に今年度設置します。ほかの公立保育園についても、21年度当初予算計上はしていませんが、計画的に前向きに進めたいと考えています。

【情報および通信基盤の整備】

○内子町公式ホームページ刷新計画の具体的内容は。

○町が設置・運営に関わっている町内の各施設でのホームページの開設状況と問題点は。また接続の状況と改善予定は。

○内子町が目指す情報通信基盤整備の具体的な将来像は。

井上行政財政班長

○町ホームページは合併してから大幅な更新は行っていません。この改善のため、21年度計画の地域イントラネット基盤施設整備事業に併せ、更新に取り組みます。

○町内施設でホームページを開いているのは、小学校数校と、からり・せせらぎ・大瀬の館など指定管理者へ移行した施設です。それぞれ特色あるページが開設され、一本化の必要はないと考えます。ただし、町ホームページへのリンクは可能なので、更新時期に合わせて協議したいと思います。

○情報通信基盤整備は、地デジ受信の環境整備、ブロードバンドゼロ地域解消、小田地区などにおける民間放送局の受信環境整備、携帯電話不通話地区の解消に取り組むこととしています。

　地デジとインターネット関係は、国の予算を活用し計画的に取り組んでいます。テレビ中継局の建設は国の補助により、2月臨時議会で議決された予算で対応したいと考えています。携帯電話も民間企業へ要望し、好反応を得ています。

【自治システムの構築と　町職員の資質向上】

○地域づくり計画見直しの具体的な内容は。また、自治力の強化には、今後何が必要か。

○町長から職員へ、資質向上を促すメッセージを伺う。

沼井教育課長

○地域づくり計画は、旧内子町で14年3月に、旧五十崎町と旧小田町で16年12月にそれぞれ策定されています。地域に不都合があれば、自治会の考えにより適宜見直していただきたいと思います。

　自治力の強化は、地域の課題などを常に洗い出し、解決に向けて地域を上げて取り組むことが大切です。地域づくり担当職員をはじめ、町職員が積極的に関わり、町民と行政の二人三脚体制をつくり上げることが必要です。

稲田副町長

○職員の資質向上の取り組みとして、19年1月、内子町人材育成基本方針を定めました。各職員の自己啓発の取り組み、職場環境の整備、研修制度の充実、意欲や能力を引き出す人事管理システムの構築などを行うとしています。

　また、職員の資質向上を図るためには、地域や町民の皆さんから学ぶ姿勢が重要です。町民の皆さんや地域の資源が職員を育てていくという視点が、最も大事だと考えています。

◆山上　芳子（よしこ）　議員

【子育て応援特別手当】

○内子町の支給対象者数と支給総額は。また、申請受け付けなど給付に伴う体制、支給時期、相談窓口の設置についてどう考えているのか。

向井保健福祉班長

○支給対象者は、2月1日現在で290人、支給総額は1千44万円の見込みです。

○給付に伴い保健福祉班内に担当者を置きます。申請書の受付窓口は本庁・分庁・支所。支給日は、4月以降、月1回の支払日を設ける予定です。相談窓口は本庁・分庁・支所に設け対応します。

【妊婦健診臨時特別交付金】

○県が妊婦健診臨時特例基金新設を決定。4月から全市町で14回の助成ができるが、内子町での今後の取り組みは。また、給付金額はいくらか。

向井保健福祉班長

○今回の助成は22年度まで国と市町が$\frac{1}{2}$ずつ負担するもので、これに伴い、県がまとめて基金を設立したところです。

　内子町では、21年度から現在の5回分の公費負担に加え、残り9回を1回あたり4千円公費負担します。受診券などは県下統一で準備を進めており、5月以降に配布予定です。4月分は立替え払いとし、領収書を確認の上で返還します。改正は3月中に個人通知し、広報などで周知します。

　4月1日からは里帰り時など県外医療機関の受診も助成対象となります。この場合は、領収書で確認して支払うこととなります。

　内子町では、次年度の妊婦健診対象者を140人と想定。事業費は504万円、町負担額の見込みは252万円です。

【町営バスの運行】

○高齢者が外出しやすくするためにも、山間部地域の運行を視野に入れ、運行を見直す考えはないか。

西澤総務課長

○町内の主要地域12路線で1日39便を運行。福祉バスも山間部の4地域、4路線で運行しています。

　今後は、新規路線を含め、乗車率が低い路線の見直しやダイヤ改正などの再検証を行います。ただし見直しは、小中学校への遠距離通学者の利用が最優先となります。また、経費面では5千万円前後の赤字です。

　民間の活用、予約制、デマンド方式など、調査研究したいと考えています。

◆森並　隆幸（たかゆき）　議員

【商工業の振興】

○最近の不況で、内子町でも廃業取り壊しが年々増加している。この現状を見て、商工業の振興についてどんな考えを持っているのか。

久保産業振興班長

○町内経済の活性化と安定した雇用確保には製造業の集積と流出防止が重要です。9月議会で議決された企業誘致条例は、町外企業に対する優遇措置だけでなく、町内企業が新たに一定以上の増設を行う場合も助成対象となっています。今後はパンフレットを作成し積極的な営業を行います。

　商業の振興策は、内子本町通り商店街を中心に都市再生整備計画を策定しています。旧図書館や内子座周辺の整備、六日市地区建物の修景整備など、国土交通省のまちづくり交付金事業で取り組む予定です。また後継者たちの積極的な取り組みや地域商業振興の支援を図ります。

◆池田　洋助（ようすけ）　議員

【定額給付金に伴う商品券発行】

○経済対策、消費拡大を目指し、多くの自治体が地元商工会議所や商工会と連携をしてプレミア付き商品券の発行を計画しているが、町長の積極的な判断は。

井上行政財政班長

○この機会を絶好のビジネスチャンスととらえ消費拡大につなげる企画をしている商工団体もあります。商店主の皆さんも創意工夫した内子町ならではの取り組みを行っていただきたいと思います。

2009cmの巻きずし作りなど楽しいイベントを実施

【内子幼稚園の新築】

○12月議会で幼稚園授業料の値上げを審議した際、河内紘一（こういち）前町長から「千円値上げする以上、内子幼稚園は存続し、整備する」という趣旨の答弁があった。この方針をどのように引き継がれたのか。

堀本学校教育班長

○21年度からは3歳児保育も始めることもあって、保護者を中心に要望が強くなっていることは十分認識しています。

　「子どもたちに夢を」の公約および新町建設計画に基づき、24年度を目標になるべく早く建て替えなどを行う方向で検討中です。財政状況も考え合わせ計画を立てていきます。